



interview

## 十和田湖の力を再認識

十和田湖増殖漁業協同組合  
組合長

小林 義美 さん

神の湖に魚を放流するのを当時の人が許したのは、和井内貞行が労働者を思っていたことだからでしょう。だから、今は私たちが地域の産業である観光のためにヒメマスを育てているつもりです。

一時、湖の透明度が下がり苦勞をしましたが、各関係者が努力をした結果、現在は回復を見せています。ヒメマスにとって良い環境を維持し、大切に育てることが私たちの使命です。

今年1月に「十和田湖ひめマス」は地域ブランドとして商標登録されました。これはヒメマスからの贈り物と感じます。認定の過程では、「十和田湖」の認知度の高さを改めて感じました。

やはり十和田湖の恩恵は大きく、私たちはしっかりとヒメマスを受け継ぎ、育てていかなければならないし、それぞれの人がそれぞれの分野で力を尽くせば、十和田湖の輝きは失われたいと信じています。



# 十和田湖再発見

夏の空を映してますます輝く十和田湖。こんなに近くにある絶景。世界に誇れる、私たちの名勝を見つめ直します。

## 大自然が造形した 圧巻の美

十和田湖は、約20万年前に始まった火山活動によって生まれた湖です。長い年月をかけ、噴火と陥没を繰り返して、最後の噴火となった今から1100年前（西暦915年）に現在の形になりました。その噴火は非常に大きく、当時の様子は遠く離れた比叡山（ひゑのやま）の延暦寺の僧侶によって編み出された歴史書「扶桑略記」に「朝日に輝きがなく、まるで月のようだった」と空の異変が記されています。

地域に伝わる八之太郎と南祖坊が激しく闘う十和田湖伝説は、この噴火のすさまじさを表し、南祖坊が植えたという推定樹齢1100年の「法量のイチョウ」は、善正寺跡とされる高台に立ち、噴火で被災した村人を弔うために植えられたとも言われています。

## 魚住ます 青い湖の物語

十和田湖は貧栄養湖という湖沼の類型に属し、プランクトンなども少ないため透明度が高く、水は澄みわたります。明治14年、和井内貞行は十和田鉱山に勤務し、十和田湖畔に移住しました。当時の十和田鉱山は最新鋭の精錬設備を持ち、銀を産出。2千人余りが住んでいましたが、力の元になる良い栄養源に恵まれませんでした。そこで、貞行

が迫り、輝きを放ちます。

## 霊山十和田に広がる 壮大な信仰の世界

十和田湖は鎌倉時代から修験者の修行場として知られていました。十和田神社から御前ヶ浜一帯では、修行や祈禱が行われたと考えられています。

一般の人も寺社参詣するようになった江戸時代には、恐山と共に南部藩の二大霊場とされ、人々から厚い信仰を受けました。山岳の険しい難所をいくつも越えて、やっとたどり着けるところでありながら、休屋・休平には参詣者のための宿泊小屋が十数軒建っていました。

十和田神社は水神信仰の中心として竜神をまつり、十和田山青竜大権現と呼ばれ、十和田神社へ続く約1キロメートルの参道には杉並木が続き、鳥居が点在していました。湖畔には今も多くの修験窟の跡が残り、当時の様子が見られます。

は十和田湖で養魚を行うことを決心します。

人々は、十和田湖にまつられている青竜大権現が魚を忌み嫌うから十和田湖には魚が住まないと信じ、当初養魚を行う貞行を好まなかったと言われています。

貞行は自費でコイの稚魚を放流しましたが思うような結果が得られず、試行錯誤を繰り返して長く苦難の道を歩きます。そうして明治36年春、青森水産試験場の協力を得て3年たつと放した場所に戻ってくるというヒメマスの稚魚3万尾を放流しました。

明治38年秋。待ちわびて、無風の十和田湖を眺める貞行の目がさざなみで揺れたら、ヒメマスが大挙して押し寄せました。貞行の努力が実った瞬間と伝えられています。

ヒメマスは、淡水魚でありながら脂がのって上品な食味を持つ魚です。また、生息地が少なく大変貴重です。

昭和24年の漁業制度改革によって、十和田湖増殖漁業協同組合が漁業権を取得。貞行が起したふ化事業も引き継いで、十和田湖のヒメマスを守り育ててきました。

## 十和田湖伝説

秋田県鹿角市柴内（諸説あり）に、大蛇の血を受けて生まれた八之太郎という、よく働く若者がいました。ある時、仕事で山に行き、イワナを食べたところ、のどが渇き、谷間の水を集めて飲み続け、ようやく渇きが治りました。あたりは自分の手でせき止めた水で満ちあふれ、まるで海のような湖になっていました。



▲十和田湖PRキャラクター  
南そぼーヤ

## 十和田湖ひめマスを味わおう



「十和田湖ひめマス」が地域ブランドとして商標登録されたことで、他との差別化が図られ、地域力を向上させることにつながります。市ではヒメマスをふ化させ、漁獲する十和田湖増殖漁業協同組合の冷凍冷蔵設備の導入を支援し、多くのかたに十和田湖ひめマスの美味しさを届ける取り組みを進めています。

